

2008 年度

科目名 ジェンダー論（総合講座）B	対象学科・学年 文学部全学科3回生 人間人社3回生	担当者 李 和子
授業テーマ 「ジェンダーと人権～女性に対する暴力は人権侵害」		
授業の概要と目標 日常生活の中の気づかない性差別＝暴力を見抜く力をつけることは、自分の人権を守り、生き方の可能性を広げます。この講座では、性奴隷とされたアジアの女性たちの問題（日本軍「慰安婦」問題）、今も続くアジアの女性たちに対する人権侵害の具体的な事例を紹介しながら、性差別の構造と意識について検証していきます。		
評価方法 「出席」と学期末の「レポート」で総合評価します。 出席は、毎回ミニ・レポートを提出してもらい確認します。		
テキスト	著者	出版社
参考書 配布するプリントに参考文献を明記します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 私と女性問題（アプローチと問題意識） 個人の問題から社会の問題へ、性差別を見抜く力をつける。 2. 「慰安婦」問題って何？ 日本軍「慰安婦」問題のビデオ視聴と解説。 3. 「慰安婦」問題と私たち① 「慰安婦」問題の成り立ちと実態ついて。 4. 「慰安婦」問題と私たち② 戦争責任、性の二重規範、民族差別など「慰安婦」問題の本質について。 5. 今、アジアの女性たちは アジアの女性に対する暴力の実態をビデオなどで紹介、解説。 6. 女性に対する暴力は人権侵害 性暴力根絶に向けた日本国内外の取り組み、女性たちの活動。 7. 私の生き方を見つめる、考える グループ討議（前回のミニ・レポートを参考資料とします）		